

お客様

むけ

元氣通信



お客さま、こんにちは。9月に入っても日差しが非常に強く感じます。この暑さは9月いっぱい続く予報となっておりますが、体調など崩されていらつしやいませんか？そして照り付ける日差しの強さと熱風から一転し、激しい雷雨。この状況は今年だけではなく今後も常態化していくのではないかと思います。さて元日に発生した能登半島地震では、地域差はありますが新潟でも大きな揺れと被害が生じました。私はこの時自宅にいたのですが緊急地震速報が鳴り響き、間もなく大きな揺れがありました。そして立て続けに2回目。家全体がガガガガ！と強烈に揺さぶられました。震度は5強。過去に同じ震度は経験しましたが、今回は時間も揺れ方もその時とは別物でした。幸いなことに家財と家の土台の一部損傷で済みましたが、近隣では駐車場のアスファルトが大きく盛り上がりつつあった家やブロック塀が傾き非常に危ない状況となった家などが見受けられました。同じエリアでは、液状化よって大きく駐車場が陥没したり、新築の家が傾く、歩道のタイルがガタガタになる、道路の端が大きく崩れるなど、広範囲で被害が見受けられ、私が卒業した中学校の施設にも大きな損傷が出て、特に損傷が大きな校舎は取り壊し、ほかの建物や体育館なども修繕をしなければならぬ状況となりました。

年の初めに起きた今回の経験は、なかなかメンタル面にこたえました。遠く離れた地域でもこれですから、ましてや震源近くの地域に住まわれていた方々のご心痛は想像を絶するものだと思います。

その中で、結果として使うことなく済みましたが半年以上前にふと思立ち、万一自宅避難という事態が生じたときの備蓄の水と食糧、トイレ用品などの準備をし、防災グッズと猫用の持ち出し品などをまとめて玄関に置き、緊急避難時の備えをしておいたので、一時避難するときすぐに持ち出したことは良かったことかなと。他方で、テーブル下に飼い猫を抱きかかえてもぐったところ、すごい力でもがいて抜け出され、弾丸のように一直線に廊下をかけてしまったため、揺れがまだおさまらない中探しに行き、押し入れの奥のほうで目を大きく見開き固まっているのをみつけて無理やり引っ張り出しキャリーケースに入れるのには一苦労しました。

またこの8月には日向灘を震源とした強い地震が発生し、初の南海トラフ巨大地震臨時情報が発表され、巨大地震注意が呼びかけられました。これにより公共交通機関が従来の動きを抑制され、また予定されている行事の中止など、人々の生活や経済活動に大きな影響を与えました。

地震だけでなく天気の変動による大雨や変則的な動きを見せる台風など、毎年のように「例年にない」ことが、当たり前のように起こってきている中で、ではどのように行動したらよいのか？ということですが、いつおこるか分からない地震についてはもう防ぎようがなくて、怖いから動かないというわけにはいかないのです。「備える」ことと、できる限りの「リスク分散」をしておくしかないのかな、と思いつくが、その他の天候の急変や台風などについては、気象情報である程度の予測がつくことから、外れても仕方ないという前提で動くことは可能かと思えます。また多少調整可能なスケジュールを立てておくことや、複数の移動手段を考へておくことなども有効かと思えます。

とはいえ一時的には出来ても、継続することはそう簡単なことではないですよね・・・。

「政が乱れると天災が起きる」

古来より地震や飢饉、疫病などは、政が乱れると天が怒って罰を下すと言われています。因果関係があるかどうかは定かではないものの、過去の歴史をみると妙に重なっているところもあり、あながち嘘ではないような気もしてきます。これは日本だけのことでなく、世界中においても言えることなのではないでしょうか。そして、政に限らず、人類は踏み込んでほならない領域に入ってしまったのではないかと思えるこの頃です。



■【その季節に合ったことをする】

生産部 工務 鮫島 貴希

漠然としていますが、私のハマっていることは「その季節に合ったことをする」です。季節といってもその年によって表情が様々です。桜がとても咲いた春、猛暑日が続いた夏、短かった秋、雪がとても多かった冬など。

今回はその中から春のお話をさせていただきます。

今年の春は新酒はもちろん、花見も楽しみました。

私は春生まれなのもあるのか桜がとても好きです。数年前に家の庭に桜の苗木を植えるくらい桜好きなのですが、実は植えて2年ほど花をつけることはありませんでした。毎年幹は大きくなるものの、花は一輪たりともつけることはなく頭を悩ませていました。

そして3年目の雪がちらつく12月にインターネットで花が咲かない原因を調べてみたところ、原因の一つに単純に土の栄養不足と出てきました。

たしかにその場所は周りに木がなく、落ち葉なども落ちる場所ではないので十分に考えられるものでした。

そしてその日にホームセンターにて肥料を買い、雪に降られながら根の周りを掘り肥料を混ぜました。すると12月に行なったにも関わらず、4月に見事満開の花を咲かせてくれました。

正直咲くと思ってなかったのととても嬉しかったことを覚えています。

その年から花見は毎年自宅の庭でするようになりました。

話は変わりますが、今年の春からまた弊社に新しい仲間が増え、私の後輩が増えました。人への教育は桜の成長に似ています。

細かい説明をせず仕事をやらせておけば、とりあえず作業は出来るようになります。ですが、それでは肥料をあげず花が咲かない、ただ幹が大きくなっていくだけの桜と同じです。こちらからどういう為の作業なのか、なぜそうするのか、どういう点に注意するのか、細かく説明するという肥料をあげなければ花は咲きません。

四季に暑い夏や寒い冬があるように、仕事にも辛く厳しい時があります。

後輩たちにはその時期を乗り越え最後に花を咲かせてくれると嬉しいなと思っています。



■【新築にお引越し】

生産部 工務 主任 笠原 瞭

前の家がボロボロで去年の秋に新築し引っ越しをしました。

前の家は山に囲まれていてそのせいなのか湿気がかなりひどく、梅雨時期になると廊下の床の木材が捲れたり、雨が降ると雨漏りして畳にカビが生えたり、お風呂のタイルがボロボロだったり、隙間風がものすごく冬はストーブが消えた瞬間に部屋の温度が急激に下がったりしてそろそろ引っ越しか建て替えかなぁと家族で話していました。

最初は建て替えがいいかなと思って話を進めましたが基礎を壊してしまうと建てられなくなる土地だったらしく、別のところで家をたてることにしました。

2カ所候補はありましたが道路に消雪パイプが通っていて除雪が楽ということで、その土地を買うことになりました。

出張が多く、家に帰るついでに新築を見に遠回りしていましたが、そのたびにどんどん家の形ができて、外装、屋根、と出来上がるのが早く、ハウスメーカーの営業の人が冬はめちゃくちゃ暖かいし、夏は断熱性がいいので楽しみにしててくださいと言われ、すぐにでも引っ越したいなという気持ちになりました。そして待ちに待った家が完成し、いざ引っ越し! ハウスメーカーの営業の人が言っていた通り冬は特に暖かく快適で暖房も数回しか使いませんでした。そして私の部屋のドアに猫が自由に出入りできるよう加工してもらい、冬は猫と一緒に寝たりできます。

家を建ててまだ1年も経っていないので、冬はかなり快適に過ごせましたが、夏はどうかなと楽しみながら過ごしています。

アメリカンパトロール 幼稚園の登園時間に園舎内に流れていた。

石段を登って境内を横切り、軽快なリズムを聞きながら玄関で上履きに履き替える。そして左側の教室（のと組）に入る。神社の幼稚園で年に何回か本堂に園児全員が正座し、神主の姿をした園長先生からお祓いをしてもらっていた。そんな神社にアメリカンパトロールとは異質の組み合わせ。園長先生の好みだったのだろうか。

ショパンのノクターン作品2番 デパートで閉店時間が近づくと流れた曲。

これも子供の頃の記憶で、今でもノクターンを聞くとデパートの家具調度品売り場の映像が頭に浮かんでくる。なぜ家具調度品売り場なのかは不明。

旧友 運動会の行進曲。

小学校の運動会は最初に生徒全員の入場行進から始まった。甲子園の高校野球と同じで、校庭をぐるっと回ってから中央部に学年別に並んだ。事前に何度も練習させられメロディーもしっかり覚えた。

トロイメライ 小学校の退校時間を知らせる曲。

校舎の前を流れる川の浅瀬で遊んでいても、このメロディーが聞こえると放り出していたランドセルを背負い、友人たちと急いで帰ったものだ。

双頭の鷲の旗の下に 中学校の全校朝礼の入場曲？

中学校では毎週月曜日は全校朝礼で、集合時間になるとファンファーレが鳴り響き、生徒たちが体育館に集まって来る。そして校長先生の退屈な話を聞いていた。

峠の幌馬車 高校の昼休みの校内放送番組（内容は忘れた）のオープニング曲。

弁当を食べながらバイク談義しながら聞いていた。ちなみに私のバイクはY社製で友人達のバイクはY社・H社が多く、S社・K社は少なかった。

家路（ドボルザークの新世界より）川崎市の工場の終業時間のチャイム。

始業・昼休み・休憩はウエストミンスター・チャイム（たぶん日本の標準チャイム）だが、終業だけは家路。気楽な寮生活だったからこのメロディーが聞こえると、夕食は社食（社員食堂）にしようか、それとも寮の近くの吉野家（牛丼の店ではなく同じ店名の小料理屋）にしようかと考えながら後片付けをしていた。

ドラゴンクエスト（ドラクエ） 徹夜でゲームしていた。

リモコンのボタンを押す指の速さではなく、試行錯誤しながら謎を解き戦術を考えるロールプレイングゲームにはまってしまった。ドラクエは音楽も素晴らしく「序曲（ロトのテーマ）」とドラクエ1の「ラダトゥーム城」、そしてドラクエ2のエンディング「この道我が旅」は、私にとって名曲中の名曲。元気を出したいときは「序曲（ロトのテーマ）」ゆったりしたいときは「この道我が旅」を聞いている。

大いなる西部・サンホセへの道・夜霧の忍びあい カーオーディオの付属テープの曲。

初めて買った車（M社製）のオーディオ（昔はカーステレオ）の付属テープに入っていた曲で、かなり長い間この3曲だけを繰り返し聞いていた。その後、家のオーディオ（昔はステレオ）で好みの曲だけをカセットテープに録音し車で聞くようになった。今でも同じ事をしているが、メディアはUSBメモリーで827曲入っている。

東北・上越新幹線車内チャイム どちらもシンプルなメロディーが好感を持てる。

東京発の「東北新幹線やまびこ」では、福島トンネル出口近くでチャイムが流され減速が始まる。直ぐに棚のバッグを降ろし列車が荒川を渡ったら乗降口の前に立つ。そして福島駅にさっと降りる。のんびりしていると仙台まで連れて行かれる。

越後平野を鷲進（ばくしん）する「上越新幹線とき」は、新潟市西区で減速を始めると走行音が唸るような音になる。そして列車が信濃川を渡る時にチャイムが流れるが席に座ったまま外を眺めている。新潟駅は終着駅だから乗客は列車がホームに停車してからバッグを降ろし、ゆっくり歩いてホームに降りる。終着駅の特典だ。

スペイン語中間報告。

母音の多いスペイン語には聞き心地の良い単語が多くあり、駅：La Estacion：ラ エスタシオンもその中の一つ。60年ぶりに建て替えられた新潟駅万代口の駅ビル。全国の公共施設の外国語案内表示は英語・中国語・韓国語ばかり（新潟市にはロシア語もあるが）。スペイン語で新潟駅 La Estacion de Niigata と大きく書いてみよう。ついでに駅ビル内にBARバルも。新潟産食材で作ったスペイン料理のタパス（小皿料理）とピンチョス（串料理）を肴に、新潟の地酒を堪能する。Esta delicioso！エスタ デリシオソ ととても美味しい。Estoy feliz！エストイ フェリス 幸せだ。

